



ヤナセ労働組合(山下雅弘中央執行委員長)は24日、社会貢献活動の一環として取り組んできた「飲料アルミ缶のリンクプル集」の成果として、日本自動車会館の入館団体・企業で構成する日

ヤナセ組  
自動車会館運営委に  
車いすを寄贈

中央自動車会館運営委員長と山下雅弘氏より、中央自動車会館に寄贈された車いす。

長は「100万個以上のアルミ缶を集めた皆さんの尽力に心から感謝し、有効に活用させていただきます」とあいさつ。車いすは同会館1階の「くるまプラザ」に保管され、会館内の救急活動に利用するほ

か、イベントなどの車いす体験に活用していくという。  
ヤナセ労働組合では、2006年2月から、車いすの寄贈を目的に、全国19支部・1分会で飲料アルミ缶のリンクプルを収集してきた。08年10月までに累計収集量は510kgに達し、同組合の「自動車産業にかかわりの深い施設で利用してほしい」との意向で、日本自動車会議所を通じ、同会館に寄贈されることとなった。

本自動車会館運営委員会(委員長＝名尾良泰)日本自動車工業会副会長兼専務理事)に車いすを寄贈した。  
引渡式では、山下中央執行委員長と名尾委員長が出席。名尾委員長

## 日本自動車会館にヤナセ 労働組合が車椅子を寄贈



握手する日本自動車会館運営委員会の名尾良泰委員長(右)  
とヤナセ労働組合の山下雅弘中央執行委員長

**日** 本自動車会館の入館団体・企業で構成する日本自動車会館運営委員会(委員長=名尾良泰、日本自動車工業会副会長・専務理事)は平成20年12月24日、ヤナセ労働組合(山下雅弘中央執行委員長)から車椅子を寄贈されるのに伴い、日本自動車会館「くるまプラザ」前で引渡式を行った。

ヤナセ労働組合では、社会貢献活動の一環として、車椅子の寄贈を目的に2006年2月から飲料アルミ缶のリングプルを収集してきた。リングプルは1個、わずか0.5gの重さしかないが、全国の支部・分会(19支部1分会)を通じて集めた累計収集量は2008年10月までに510kgに達し、車椅子との交換が実現した。同労組では、「私たちが働く自動車産業に関わりが深く、また自動車産業ならびにクルマ社会の発展に日々貢献されている日本自動車会館でご利用いただきたい」として同会館への寄贈の意向を伝えてきたことから、同運営委員会では同労組の申し入れを快諾した。

寄贈された車椅子は「くるまプラザ」に保管され、会館内の救急活動に利用することになっているほか、イベントなどの車椅子体験などに活用することになっている。

引渡式で挨拶をした名尾運営委員会委員長は、「大変なご努力をされた組合員の皆様方に心からお礼申し上げます。また、このような立派なクリスマスプレゼントをいただき、私どもで有効に使わせていただきたい」とお礼の言葉を述べた。